

ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地整備事業について

1. 事業の目的

平成31年9月に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019™大会において、公認チームキャンプ地として、世界のトップチームを受け入れることにより、本市のスポーツ振興及びスポーツに対する市民意識の醸成を図り、本市の都市イメージを国内外に発信する。

3. 事業の効果

- 国際スポーツタウンをめざす本市の都市イメージの国内外へのPR（シティセールス）
- スポーツを通じた国際交流・文化交流の活性化
- 国際的なスポーツ大会の公認チームキャンプ地としての実績
- 東京2020大会への気運醸成
- 本市におけるラグビーの振興
- 国際大会やイベント誘致、市民利用等に活用

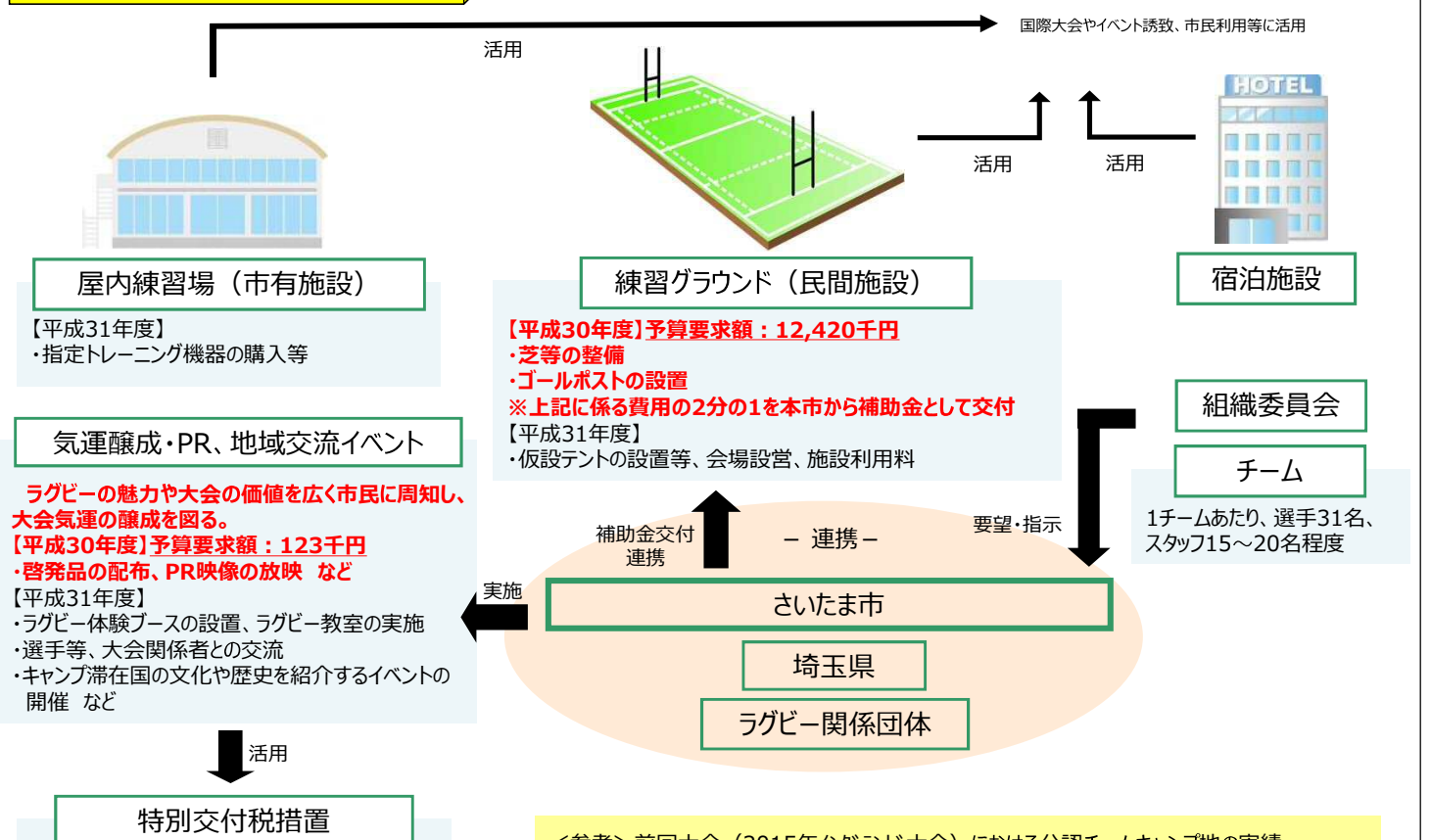
4. 課題と解決策

- (課題)
- キャンプ地決定前にハード整備を行うことに伴うリスクの回避
 - キャンプ地に決定しなかった場合の、用地・設備等の活用方法
- (解決策)
- キャンプ地の決定を見据えながら段階的に整備することとし、平成30年度においては、大会後も活用できるハード面の最小限の整備とする。
 - キャンプ地の決定にかかわらず、練習グラウンドを国際大会やイベント誘致、市民利用等に活用していく。

5. スケジュール

平成29年度				平成30年度												平成31年度											
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
チームによる実地視察(1回目) H29.12月～H30春頃まで順次実施				● 公認チームキャンプ地決定(H30春以降順次) ● 組織委員会との契約締結				チームによる実地視察(2回目)H30秋～H31春頃												● 公認チームキャンプ地決定(H31春頃) ● 組織委員会との契約締結							
				● 練習グラウンドの芝等の整備 ● ゴールポストの設置				練習グラウンドの芝の養生、生育管理等												● 指定トレーニング機器の設置 ● 会場設営							
				既存のイベントを活用した気運醸成イベント・PRを複数回実施																既存のイベントを活用した気運醸成イベント・PR、地域交流イベントを実施							
																				● チーム受け入れ(大会期間中及びその前後) ※大会期間:9月20日～11月2日 ● 市内体育館へ指定トレーニング機器を移設							

2. 事業の概要



<参考> 前回大会（2015年イングランド大会）における公認チームキャンプ地の実績

- ・1チームが1箇所のキャンプ地を使用した平均日数 約9.8日（最長滞在日数 26日間、最短滞在日数 4日間）
- ・1箇所のキャンプ地におけるチーム受入最多数 3チーム
- ・1箇所のキャンプ地における複数チームの最長滞在日数 27日間